

化石観察体験に関するガイドライン

おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会

化石については、小学校6年生理科の「大地の成り立ち」で学習することになっており、その化石を野外で実際に発見・観察するという体験は、教育上大変貴重なものと言える。しかしながら、地質資源の保護や安全上の観点から、以下のガイドラインに沿って実施するものとする。

安全上の観点から

- ・参加者全員がヘルメット着用。歩きやすい靴、服装で参加する。
- ・参加人数は原則として20人程度以内とする。
- ・崖に近づいたり登ったりしない。
- ・まずはハンマー等を使用せず、既に割れている石の表面の化石を探す。
- ・ハンマー等を使用する場合には、軍手、保護メガネ（安全ゴーグル）を着用する。
- ・ハンマー等で石を割る際は、周囲に人がいないか必ず確認する。
- ・雨天時、その他天候不良の際は観察体験を行わない。

資源保護の観点から

- ・化石観察体験は教育目的に限る。
- ・対象は小学6年生以上とする。
- ・事前に資料館等で化石に関する解説を受ける。
- ・専門家もしくは資料館職員の同行・指導のもとで観察する。
- ・観察は転石のみとし、崖は破壊しない。
- ・観察した化石は原則として現地に残すものとするが、今後の教育に役立つと学校が判断する場合は、学校の責任で保管・活用する。
- ・学術的に貴重な化石が得られた場合は、その管理について資料館と協議する。